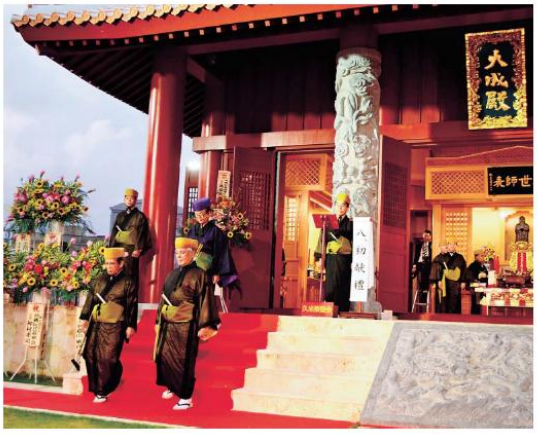
琉球新報　2013年(平成25年)9月29日　日曜日　26面　【社会】　掲載




69年ぶりに久米に戻った久米至聖廟で初めて祝った孔子の誕生日「クーシウマチー」＝28日、那覇市久米

# 孔子の誕生日祝う

## 久米でクーシウマチー

読んで学べるNIE

約2500年前の中国の思想家・孔子の誕生日の9月28日を祝う「釋奠祭禮」（クーシウマチー）が28日、那覇市久米に69年ぶりに戻った久米至聖廟で執り行われた。

中国から琉球に渡来し、琉球王国の繁栄を支えた「久米三十六姓」の子孫らが組織する久米崇聖会（神村光二理事長）が主催した。

久米至聖廟は沖縄戦の10・10空襲で焼失し、戦後は若狭に再建されたが、ことし6月に久米に戻り、孔子の位牌などが一斉に引っ越した。9月28日は年に1度、正門「至聖門」を開けて孔子を迎える日だ。開門の大事な役目を担った国場和雄さん(64)は「新しい門で、厳かな気持ちだ」と緊張した様子で話した。

儀式は孔子を大成殿に迎えた後、お供えや祝いの言葉などが奉納され、最後に孔子を見送った。